



令和元年12月

川越市教育委員会地域教育支援課

学校支援や地域の特色を生かした活動が展開されています

10月から12月にかけて各地区のサポート委員会では、学校支援・地域の特色を生かした活動が展開されています。学校への支援活動としては収穫体験活動、ミシン学習の補助、昔遊びやロードレース大会の安全確保等が地域の方々の協力のもとに行われ、子どもたちの豊かな成長につながっています。また、地域の特色を生かした活動では「子どもまつり」等が行われ、子どもが夢中になるような体験活動が多数ありました。

この49号では、各地区の活動の様子をお伝えするとともに、2月に行われます子どもサポート発表会及び子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」についてお知らせします。

第3回川越市子どもサポート本部会議が開催されました

今年度第3回目の川越市地域子どもサポート本部会議が開催されました。

会議では今年度の子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」作品展に応募した作品の審査と「川越子どもサポート発表会」に向けての話し合いを行いました。

今年度は絵画・作文・新聞を合わせて1,120点もの応募があり、この中から小学校低学年、小学校高学年、中学生、それぞれの部門ごとに優秀作品を合計40点を選出しました。

今年度も川越の良さや地域の特色を発見した作品が多くみられました。

なお、この審査で入賞された作品のうち、ベスト見つけ賞（金賞）の8人の発表と表彰は、「川越子どもサポート発表会」の席で行われます。

【川越子どもサポート発表会】

- 日時 令和2年2月8日（土）
9:15受付 9:30開会（11:45閉会）
- 場所 やまぶき会館ホール（川越市郭町1-18-1）
- 内容 ① 子どもサポート活動報告 11地区の活動紹介及び3地区の活動発表
② 子どもサポートコンクール「ベスト見つけ賞（金賞）」の発表・表彰
③ 講評
- その他 ・駐車台数に限りがありますので、公共交通機関でおいでください。自家用車の場合は乗り合わせでのご来場をお願いします。

子どもサポートコンクール 「小江戸見つけ隊」作品展のお知らせ

今年度も市内小・中学校の児童・生徒が自分たちの町である川越や、住んでいる地域のすばらしさ及び地域の方々とのふれあいを通して感じたことなどを作文・絵画・新聞に表現してくれました。3つの部門で応募のあった全作品を次のとおり展示いたします。

- 期日 令和2年2月20日（木）～24日（月・祝）
- 時間 9:00～17:00
(24日のみ15:00までですので14:30までの入場をお願いします。)
- 会場 川越市立美術館
1階市民ギャラリーと2階アートホール（川越市郭町2-30-1）

なお、この展示会とは別に、入賞作品（40点）の展示を次の日程で行います。

- 川越子どもサポート発表会会場ロビー（やまぶき会館/川越市郭町1-18-1）
令和2年2月8日（土） 9:30～14:00

なお、2月8日は入賞作品40点のみの展示となりますので、お間違えの無いようご注意ください。

学校応援団活動

学校応援団活動(学校教育を支援し、子どもたちを育てる)

中央南地区 小中学校で、ミシン学習、調理支援

大塚小学校、泉小学校、野田中学校でミシン学習の支援を実施しました。各グループにサポート委員が入り、糸のからまりや針の付け方等々の補助をしました。子どもたちは、制作に集中でき、仕上がりが早かったようです。また、城南中学校では調理実習の支援を行い、郷土料理づくりがスムーズにできるようにお手伝いをしました。



芳野地区 小学校で、ミシン学習の補助

芳野小学校の5・6年生が家庭科の授業でミシンを使った学習をするときに指導の補助をしています。地域の方や保護者の方々が、子どもたちの作業を見守りつつ、困っているときに適切に教えてあげて、作品を仕上げていました。



霞ヶ関地区 生活科「昔の遊び」の先生役

11月13日（水）霞ヶ関小学校、1年生の生活科学習で、昔遊びの先生役をしました。けん玉、お手玉、折り紙、こま等のコーナーに子どもたちが行くと、笑顔で優しく教えてくれる先生との会話も弾みます。うまくできた時には、たくさん誉めてくれて子どもたちも大満足でした。



各地区の特色を生かした活動の様子

子どものお祭りやフェスティバル、収穫祭

大東地区 多彩な体験「子どもフェスティバル2019」

11月2日(土)、サポート委員会主催の「子どもフェスティバル」が大東公民館を会場に開催されました。囲碁将棋体験、茶道体験や車いす体験等子どもたちが楽しんでいました。さらに小中学校の吹奏楽の演奏と、盛りだくさんの内容は参加者に大好評でした。



山田地区 収穫したお米をかまどで炊いて「収穫祭」

11月7日(木)、山田中学校1年生による「収穫祭」が、サポート委員やPTAの方々の協力で行われました。9月に収穫したお米をかまどで炊いておにぎりをつくり、学校ファームで収穫した野菜で味噌汁をつくりました。災害時を想定した活動であることも意識しながらの2時間でした。



霞ヶ関北地区 「子どもフェスティバル」を開催

11月16日(土)霞ヶ関東小学校を会場に「子どもフェスティバル」が開催されました。体育館・運動場・校舎内を会場に、フォークダンスや和太鼓、走り方教室等々、多彩な体験ブースが用意されていました。川越郷土かるたを使ったかるた大会では、静寂の中読み上げられた札を楽しそうに取り合っていました。



福原地区 「ふくはらこどもまつり」を開催

11月9日(土)、「ふくはらまつり」の一環として、「こどもまつり」が開催されました。小学校1・2年生はさつま芋堀り、3年生以上は小学校の運動場で、グラウンドゴルフを実施しました。毎年参加している子どもも多く、腕前も上がり、あちらこちらで、歓声が上がっていました。最後に地域でとれた野菜がたっぷり入った芋煮をいただきました。



霞ヶ関地区 「かすみ子どもまつり」で楽しくもちつき

10月6日(日)、霞ヶ関公民館で「第31回かすみ子どもまつり」が、開催されました。サポート委員会の方々の指導のもと、子どもたちは杵を使ってのもちつきを体験し、その後おいしくいただくことができました。また、創作ダンスの発表、ジャンボ紙芝居、ミニ布ぞうり作りもあり、霞ヶ関小学校運動場での少年野球チームによるストラックアウトも大人気です。



名細地区 こもれびの森たんけん隊

11月9日(土)に初めての事業である「こもれびの森たんけん隊」が東洋大学構内で実施されました。53名を4グループに分け、各グループに川越環境ネットワークの方々が入り、説明を受けながら、木や草や生き物を観察しました。スタンプラリー形式で、楽しみながら探検をすることができました。



芳野地区 綱引き大会へむけての練習会

スポーツフェスティバルの綱引きコーナーに、毎年参加している芳野小学校・中学校のチームの練習会が、子どもサポート委員会の支援を受けて行われました。3回の練習会では、体育館の壁に綱を張り、引く姿勢とタイミング等、声を出しながら一生懸命に練習をしました。当日は、中学生チームが決勝に残りました。



中央北地区 川越城の跡を探そう

10月27日(日)に、初めての事業である「川越城の跡を探そう」が実施されました。3つの小学校から参加した小学生と保護者の皆さんと一緒に歩きました。博物館をスタートして、川越城の門の跡や本丸御殿、富士見櫓跡をめぐりました。案内役は、中央北サポート協力員の博物館の先生方でした。



川鶴地区 PTAとの共催で「子サポ祭り」

11月30日(土)、川越西小学校PTAと共催の「川鶴地区子サポ祭り」が川越西中学校を会場に開催されました。中学校吹奏楽部による演奏や卓球部による卓球体験、PTAによるストラックアウトや射的のレクリエーション、おやじの会による焼き芋等々、楽しい体験や交流ができました。また、地区社協と中学生とで作ってくれたとん汁もいただきながら楽しいお祭りになりました。



中央地区 民話の里

12月8日(日)に「わがまち小江戸川越の民話を楽しもう！」が晴天の下実施されました。グループに分かれた小学生が民話の伝わる場所に行き、シルバー人材センターの方々から、お寺や神社などで、その場所の民話や伝説について詳しくお話を聞かしてもらいました。昨年とは異なるコースの設定で、参加者は子どもも大人も楽しめました。



